

現在の景気：県内景気は、緩やかな持ち直し傾向が続いている。非製造業では、節約志向などの影響が出ているが、観光や飲食などの対面型サービス業の回復が続いているほか、百貨店の販売も底堅く推移している。製造業では、生産活動は横ばい圏内で推移している。この間、建設需要は、住宅をはじめ民間部門に建設コスト上昇や人手不足の影響がみられるが、交通インフラ整備などの公共工事請負額の増加を背景に、総じて底堅く推移している。

3 か月程度の見通し：非製造業は、物価高や人手不足の影響を受けつつも対面型サービス業を中心に持ち直しの動きが続くほか、製造業は、横ばい圏内の推移が続くとみられる。ただし、米トランプ関税による不確実性が高まっている。

個人消費：①底堅い。②2月の県内百貨店（存続店ベース）の売上は、前年同月比3.4%減と3か月連続で前年を下回った。ハレの日消費は好調でバレンタイン商戦が盛況だった一方、高値の影響により生鮮食材を中心に食料品などの動きが鈍化した。気温が上昇し始めた3月中旬以降は、春物商材の販売が上向きつつある模様。2月の自動車登録台数は、前年同月比13.0%増と2か月連続で前年を上回った。認証不正問題で販売が落ち込んだ前年の反動により、一般乗用車（同9.9%増）、軽乗用車（同20.9%増）ともに増加した。

住宅建築：①弱含み。②2月の新設住宅着工戸数は前年同月比4.3%減少し、3か月連続で前年を下回った。分譲住宅（同10.4%増）が増加した一方、持家（同12.2%減）、貸家（同10.5%減）が減少した。

設備投資：①堅調。②国土交通省の「建設着工統計」（非居住用）によると、2月の工事床面積（年度累計）は前年度比4.7%減、工事予定額は同3.4%増となった。建設コストの上昇から設備投資案件を見送ったり、人手不足から着工が遅れたりする事例があることから、工事床面積の前年割れが続いている。一方、工事費予定額は単価上昇から前年を上回っている。ひまわりベンチャー育成基金（調査研究部門：千葉経済センター）によるアンケート調査*では、24年度設備投資計画（12月末時点）は、23年度実績対比28.9%増となった。

公共工事：①増加。②2月の県内公共工事請負額（年度累計）は、前年同月比18.3%増加した。独立行政法人等（同141.6%増）、市町村（同12.2%増）、県（同4.7%増）、国（同1.8%増）いずれも増加した。

輸出：①増加。②2月の成田、千葉、木更津3港合計通関輸出額は、前年同月比18.5%増と16か月連続で前年を上回った。成田空港は、科学光学機器（同36.7%増）、電気計測機器（同35.5%増）が増加し、同21.5%増と15か月連続で前年を上回った。一方、千葉港は、石油製品（同39.8%減）や化学製品（同18.8%減）の減少により、同9.2%減と3か月ぶりに前年を下回った。木更津港も、鉄鋼（同11.3%減）の減少などにより、同11.4%減と2か月連続で前年を下回った。

生産活動：①横ばい圏内。②1月の県鉱工業生産指数（季調値、2020年＝100.0）は、100.4（前月比1.5%上昇）と3か月ぶりに上昇した。石油・石炭製品工業（同6.1%低下）が低下した一方、食料品工業（同12.1%上昇）、化学工業（同5.5%上昇）が上昇した。

観光：①底堅い。②県内の観光・宿泊施設は、好調な入込を続けている。県内では、「坂田城跡天空の梅まつり」（2月22日～3月9日、横芝光町）や「茂原桜まつり」（3月29～30日、茂原市）など、見頃を迎えた季節の花々を楽しむイベントが相次いで開催され賑わいをみせた。気温上昇とともに行楽需要が高まるなか、JR東日本は日本遺産「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」に認定される佐倉・成田・佐原・銚子における観光キャンペーン「とーんときたっ！北総」（4月1日～6月30日）をスタートするなど、各事業者が集客に弾みをつけている。

雇用情勢：①人手不足感が強い状態が続いている。②2月の有効求人倍率（季調値）は前月比0.02ポイント低下の0.99倍となった。ひまわりベンチャー育成基金のアンケート調査*における雇用実績BSIは、大幅な「不足」超が続いている。

【トピックス】

- 任期満了に伴う千葉県知事選挙の投開票が行われ、熊谷俊人氏が再選を果たした（3月16日）。同日実施された千葉市長選では、現職の神谷俊一氏の当選が決まった。
- 国土交通省が公表した25年の公示地価（1月1日時点）によると、千葉県の全用途平均は前年比5.0%上昇と12年連続で上昇した（3月18日）。用途別でも、工業地（同9.9%上昇）、商業地（同5.7%上昇）、住宅地（同4.5%上昇）の全てで前年を上回り、とりわけ工業地は全国3位の伸び率となった。
- JR海浜幕張駅に、新改札「公園改札」および商業施設「ペリエ」の新館がオープンした（3月22日）。
- 千葉銀行は、千葉興業銀行の株式を約20%取得したと公表した（3月28日）。同社の筆頭株主となり、地域経済の発展や企業価値向上を図り、関係強化に向けた協議を進めるとしている。

* 調査実施時期：24年12月～25年1月。有効回答数176社。